2024 年 11 月 1 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

「未来創生 3 号ファンド」
量子コンピュータ向けアルゴリズム・ソフトウェア開発に強みを持つ
株式会社 QunaSys への投資実行

―量子コンピュータの性能を最大限に引き出すためのアルゴリズム・ソフトウェアを提供―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021 年 10 月に設立された「未来創生 3 号ファンド」が、株式会社 QunaSys（本社：東京都文京区、代表：楊天任、以下「QunaSys 社」）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。今回の投資により QunaSys 社は産業課題を解決する応用領域の開拓や実応用のための技術開発、量子コンピュータの力を引き出すための基盤技術開発を進めていきます。

■投資先企業の概要

QunaSys 社は、量子コンピュータ向けアルゴリズム・ソフトウェア開発を行うスタートアップです。QunaSys 社は量子コンピュータの産業応用を軸に業界の発展を牽引してきました。今後、誤り訂正アーキテクチャや長期的なアルゴリズム開発に取り組み、誤り耐性量子コンピュータ時代の産業応用の可能性を広げていきます。

■「未来創生（1 号）ファンド」、「未来創生 2 号ファンド」および「未来創生 3 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。そして、2021 年 10 月から未来創生 2 号ファンドの 5 分野 に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生 3 号ファンドの運用を開始しました。2024 年 9 月末時点の運用資産残高は、1 号、2 号および 3 号をあわせて、1,143 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com